



取扱説明書

スプレーガンクリーナー - UG4000 & UG6000 シリーズ

プレッシャーポットクリーナー - UPP6500E

ペイント缶クリーナー - UP6000

ユニラム・コーポレーション・オンタリオ州・カナダ

REV 2014-09

目次

はじめに	3
注意事項と警告	3
モデル別特徴	3
構造	4
セットアップ	
点検	5
設置場所	5
水平調整、排気、空気供給	5
溶剤の選定	5
溶剤バケットの設置	7
接地線の取り付け	8
操作	
前洗い	8
スプレーガンとカップの洗浄	8
手動洗浄と手動すすぎ機能の使用法	9
追加機能 - UG6000 シリーズ	9
ホースの洗浄	10
洗浄後	10
日常メンテナンス	
フィルターパッドとスクリーン	10
溶剤の交換	10
トラブルシューティングチャート	11-12
トラブルシューティング手順	13
フロー図	14-15
交換部品	16
付属品、消耗品及びオプションパーツ	17
保証	
北米ユーザー向け延長保証	17

製品保証規定 18

はじめに

ユニラムは、その革新的な製品に採用されている設計について、多数の特許を保有しています。すべての機械は、厳格な品質保証基準に準拠しているかどうかを入念にテストされています。

安全かつ効果的に本機械を操作するには、本書の「セットアップ」、「操作」、「メンテナンス」の項に記載されている指示に従ってください。これらの指示に従わない場合、誤動作や機械の損傷を引き起こす可能性があります。下記の「注意事項と警告」の項、および機械に取り付けられたラベルに記載の指示にも必ず従ってください。また、取扱説明書はオペレーターが常にすぐに参照できる状態にしてください。

本機械の操作に関するご質問がございましたら、販売代理店またはユニラムのサービスエンジニアまでお問い合わせください。

北米地域：ユニラム・テクニカルサービス

1-800-417-9133

その他の地域：お取引先のサプライヤーまでご連絡ください

注意事項と警告

- メンテナンス実施時は、必ず本機の電源を切断してください。
- 火気のある場所や火花、高温源の近くでの喫煙や使用は厳禁です。

- 付属の接地線を使用して、バケツ及びキャビネットを必ず接地してください。

モデル別特徴

MODEL	4000 D	4000 E	4500 E	4000 FS	6000 E	6000 EH	UPP6500 E	UP6000
TANK SIZE (W x D x H)	17.25 x 13.5 x 15				20 x 17 x 15		16x13.25x14	16x13.25x17
AUTOMATIC WASH	●	●	●	●	●	●	●	●
AUTOMATIC AIR FLUSH	●	●	●	●	●	●	●	●
AUTOMATIC SOLVENT RINSE	●	●	●	●	●	●	●	●
AUTOMATIC FUME VENTING	●	●	●	●	●	●	●	●
FUME VENT CONTROL					●	●	●	●
HOSE CLEANING			●			●	●	
MANUAL RINSE WITH BRUSH	●	●		●	●	●	●	●
BRUSH FLOW CONTROL				●	●	●	●	●
CHOICE OF MAN WASH SOLVENT					●	●		
COMBO READY		●	●		●	●	●	
INCLUDES PAILS	1	2	2		2	2	2	
INCLUDES AIR LINE FOR RECYCLER		●	●		●	●	●	
MANUAL WASH - SPGOT / NOZZLE				FIXED	FLEX	FLEX	●	●
ITEMS CLEANED							POT & LID	CANS
NO. OF JETS							18	18
SHIP WEIGHT LB/KG		90/41	80/36.4		115/48	115/48	115/48	115/48
SHIP SIZE (W x D x H)	28 x 17 x 42				30 x 20 x 45			



○ ノズルアダプター：

- 110-430 プッシュオン（従来式システム専用）
- 110-430PPS プッシュオン（使い捨てカップまたは従来式システム用）
- 注記：アダプター #780-3530 は使い捨てカップシステム専用として装着済みです**

不足品がある場合は、サプライヤーに連絡してください。

設置場所

火花、高温源、開放炎から離れた換気の良い場所に設置してください。

水平調整、排気、空気供給

- 調整脚を使用して機械を水平に設置してください。
- 排気機能付きモデルのみ： 機械上部の排気口に排気ホース（別途ご用意ください）を取り付けてください。排気システムは常時負圧状態にならないようにしてください。
- タンク開封時の溶剤排気を停止または調整するには、ユニット側面の排気制御バルブを使用してください。
- 「空気入力」（機械右側）のカバーを取り外し、空気供給アダプター（別途ご用意ください）を取り付けてください。

空気供給圧力は少なくとも 85 PSI である必要があります。また、空気は水、ほこり、さび、タール、グリ-ースなどの汚染物質を含まない清浄なものを使用してください。

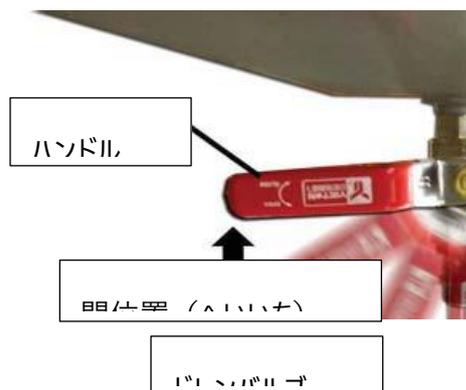
ダイヤフラムポンプの損傷を防ぐため、内部に空気圧レギュレーターが設置されており、空気圧を正確に 85 PSI に制限しています。二次空気圧レギュレーターを設置したり、85 PSI 未満の圧力に設定したりしないでください。



溶剤の選定

近年、自動車用塗料の密着性は飛躍的に向上しています。溶剤の選択は極めて重要です。お使いの塗料に適合し、自動スプレーガンクリーナーでの使用を想定して配合された、高品質な溶剤のみを使用

してください。



溶剤バケットの設置

バケットが同梱されていないモデル向け

- ベースキャビネットのドアを開けてください。
- ドレンバルブのハンドルが「閉」（水平）位置になっていない場合は、その位置に移動させてください。右図を参照してください。
- 5 ガロン（19 リットル）バケット 2 個が必要です。1 つは満タン、もう 1 つは 3 ガロン入れた状態にします。バケットは機械の前に置き、満タンのバケットは右側、もう一方は左側に配置してください。
- キャビネット内部には、吸気パイプとすすぎポンプの 2 本のパイプがストラップで固定されています。この 2 本を固定しているストラップを切断してください。黒と青のチューブを固定している他のストラップは切断しないでください。
- グレーのボタンを押して吸気パイプをドレンバルブから外し、2 本のパイプをキャビネットの外に出してください。
- すすぎポンプは右側の満タンのバケットに、吸気パイプは左側の 3 ガロンのバケットに挿入してください。手動洗浄ブラシ付きモデルには、ブラシへ溶剤を供給するチューブも付属しています。





このチューブは左側（洗浄用）バケツの蓋から挿入する必要があります。手動すすぎ機能付きモデルには、右側（すすぎ用）バケツの蓋から挿入する別のチューブが付属しています。

- バケツをキャビネット内に移動させ、左側バケツの吸気パイプをドレンバルブに再接続してください

バケツが同梱されているモデル向け（下記及び次ページ参照）

溶剤バケツの設置（続き）

バケツが同梱されているモデル向け（前ページ図参照）

プラスチック製バケツ

グレーのボタンを押して下方へ引き、吸気パイプをドレンバルブから外します（未接続の場合は省略。バルブは必ず閉位置（水平）にしてください）。

- バケツ No.2 を取り出し、吸気パイプ（及び手動洗浄用吸込みチューブが付属する場合はそれも）を取り外します。
- バケツ No.1 を取り出し、両バケツのキャップを外します。
- バケツ No.2 に約 3 ガロン（11 リットル）の清浄溶剤を投入します。
- バケツ No.1 に約 5 ガロン（19 リットル）の清浄溶剤を投入します（オーバーフロー管の約 1 インチ下まで）。
- バケツにキャップを再取り付けします（チューブ付きキャップはバケツ No.2 に取り付けます）。
- バケツ No.1 とライザーをキャビネット内に戻します。
- 吸気パイプ（及び手動洗浄用吸込みチューブが付属する場合はそれも）をバケツ No.2 に再挿入します。

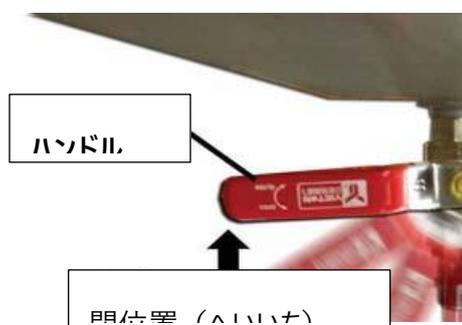
月

- バケツ No.2 をキャビネット内に戻し、オーバーフロー管を再挿入します。
- グレーのボタンを押しながら上方へ押し上げ、吸気パイプをドレンバルブに再接続します。
- ドレンバルブのハンドルを開位置（垂直）に回し、ドアを閉めます。

金属製バケツ - オプション（下図参照）

2 つのバケツをユニット前方に配置し、ラベルが手前になるように向けてから両バケツのキャップを外します。

- すすぎ用溶剤バケツに 5 ガロン（19 リットル）、洗浄用溶剤バケツに 3 ガロン（11 リットル）の溶剤を注ぎます。
- ドレンバルブのハンドルを閉位置（水平）に回し、ボタンを押しながら下方へ引いて吸気パイプを外します（既に外れている場合は省略）。
- すすぎポンプと、もし付属していれば手動洗浄用吸込みチューブをベースキャビネットの外に取り出します。
- 吸気パイプを洗浄用バケツに、すすぎポンプをすすぎ用バケツに挿入します。
- もし付属していれば、手動洗浄用吸込みチューブをすすぎ用溶剤バケツの穴に挿入します。



溶剤バケツ設置 - 金属製バケツ仕様

スプレーガンとカップの洗浄

- スプレーガンのエアキャップを 2 回転緩めます。
- トリガーロックスプリングでトリガーを開位置に固定します。
- 自動洗浄中に液体がエア通路に入るのを防ぐため、白いプラスチック製のエア通路プラグをスプレーガンのエア入口に挿入します。エア入口がクイックコネクトではなく雄ねじの場合、付属のトリガークランプに付いている knurled nut（刻みナット）を使用してください。
- スプレーガンを角部の噴射口に向けて設置します。設置方法はスプレーガンの種類によって異なる

ります。下図を参照してください。カップは下部の噴射口とカップホルダーに設置します。

注記: 重力供給式スプレーガン: カップをスプレーガンから分離して洗浄することを好むユーザーもいます。

- 蓋を閉め、「自動洗浄タイマー」ノブを時計回りに回して洗浄を開始します。洗浄サイクルは約 60 秒です。
- 「エアすすぎ」ボタンを約 3 秒間押し続け、ガンをエアすすぎします。
- 「クリーンすすぎ」ボタンを約 3 秒間押し続け、ガンを洗浄溶剤ですすぎます。これにより、所定量の洗浄溶剤（100 cc）が噴射口を通して送られます。繰り返す前に、すすぎポンプが完全に充填されるまで 30 秒待機してください。
- クリーンすすぎサイクルごとの溶剤流量は 100 cc に制限され、消費量を最小限に抑えています。この量は通常、スプレーガンの内部通路を洗浄するのに十分です。



プレッシャーポットと蓋の洗浄 (UPP6500E のみ)

- プレッシャーポットと蓋を別々に洗浄する場合は、延長回転噴射アセンブリの上に 1 つずつ設置し、上記と同じ手順に従ってください。

バケットの洗浄 (UP6000 のみ)

- バケットを洗浄するには、内側／外側切替スイッチを「内側」に回し、バケットを延長回転噴射アセンブリの上に被せ、上記と同じ手順に従ってください。その後、切替スイッチを「外側」に変更し、再度洗浄手順を実行してください。

手動洗浄と手動クリーンすすぎ

- 手動洗浄ブラシ付きモデルでは、蓋を開けてフットペダル（2 ペダルモデルの場合は左ペダル）を踏みます。専用ポンプにより洗浄用溶剤がブラシを通して供給されます。
- 手動すすぎ機能付きモデルでは、蓋を開けてフットペダル（2 ペダルモデルの場合は右ペダル）を踏みます。洗浄溶剤がブラシまたは蛇口を通して供給されます。
 - 洗浄溶剤の消費を最小限に抑えるため、クリーンすすぎの溶剤流量は制限される場合があります。

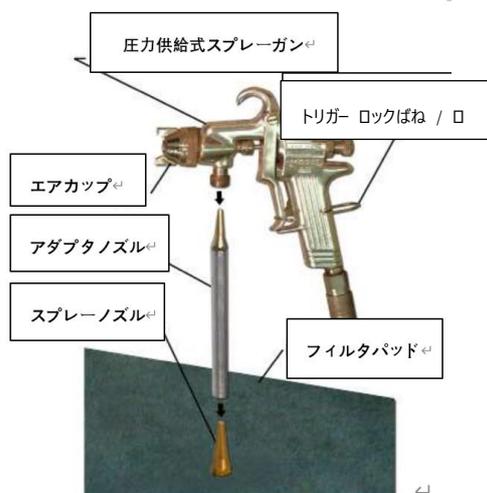
UG6000 シリーズ

- 大型タンク容量と柔軟な蛇口

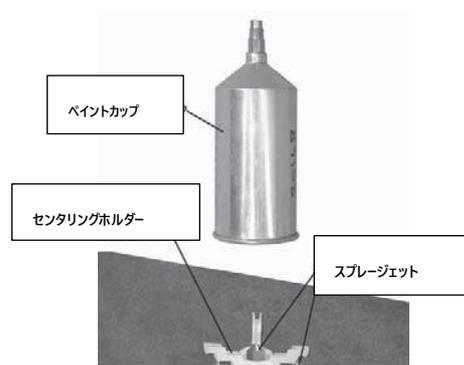
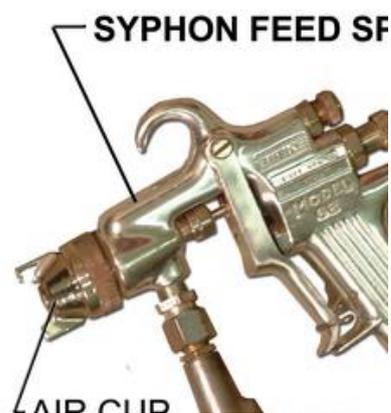
- ブラシ洗浄では、洗浄用溶剤と清浄溶剤を選択可能：ユニット前面のブラシ用溶剤選択スイッチを使用してください。
- ブラシを通る溶剤流量を調整するには、ユニット側面のブラシ用溶剤流量調整器を使用してください。

UG4000FS

- ブラシ流量調整器とフットペダル作動式固定蛇口



GRAVITY FEED SI



溶剤バケツをベースキャビネット内に設置し、ボタンを押しながら上方へ押し上げて吸気パイプをドレンバルブに再接続します。ハンドルを開位置（垂直）に回します。

- 溶剤移送ホースを洗浄用溶剤バケツのホースバープに接続し、付属のホースクランプで固定します。
- ドレンバルブのハンドルを開位置（垂直）に回し、キャビネットドアを閉めます

接地線の取り付け

月

静電気を放電するために 3 本の接地線が提供されています。正常に機能させるためには、3 本全てを正しく取り付ける必要があります。

- キャビネット背面の接地線を、外部の接地された物体に接続してください。
- 一部のモデルでは、接地線は既にすすぎポンプと吸気パイプに接続されています。
- その他のモデルでは、キャビネット内の 2 本の接地線をバケットに接続してください（1 本ずつ）

操作

前洗い

- スプレーガンをエアホースから切断し、カップ内の塗料（存在する場合）を 5 ガロン容器（別途準備）に注ぎます。
- 溶剤でカップをすすぎ、廃棄または再生処理用に同容器に注ぎます。

ホース洗浄

- この機能を備えたモデルでは、最大 100 フィート（30 m）の塗料供給ホースを洗浄できます。ホースを前面と右側の 2 つの接続口に接続し、「モード選択」ハンドルを水平位置に回転させてから、タイマーノブを時計回りに回して自動洗浄サイクルを開始します。
- ホースをエアすすぎするには、「エアすすぎ」ボタンを押し続けてください。
- ホースを清浄溶剤ですすぐには、「クリーンすすぎ」ボタンを約 5 秒間押し続けます。これにより約 100 cc の清浄溶剤が使用されます。繰り返す前に、すすぎポンプが完全に充填されるまで 30 秒待機してください。
- ホースを取り外します。

洗浄後

- タンクからガンとカップを取り出し、乾いた布で拭いてください。スプレーガンをタンク内で保管しないでください。

日常メンテナンス

フィルターパッドとスクリーン

- ガンクリーナー搭載のフィルターパッドを点検し、塗料残渣が堆積している場合は清掃してください。フィルターパッドを取り外し、清浄溶剤で塗料粒子を洗い流して清掃します。損傷や溶剤の排水不良が生じた場合は交換してください。
- フィルターパッド下部にあるスクリーンを点検し、必要に応じて清掃してください。

溶剤の交換

ユーザー提供バケット使用モデル向け

- 吸気パイプをドレンバルブから外し、バケットから取り出します。バケットをキャビネット外に移動させ、洗浄溶剤を再生または廃棄処理します。
- すすぎポンプを另一方のバケットから取り外し、バケットをキャビネット外に移動させて吸気パイプ用に左側に配置します。
- 新しい満タンの清浄溶剤バケットをキャビネット前の右側に設置します。
- すすぎポンプを右側の満タンバケットに、吸気パイプを左側の半分量バケットに挿入します。手動洗浄ブラシ付きモデルはブラシ供給チューブを左側（洗浄用）バケットの蓋に、手動すすぎ機能付きモデルは別途チューブを右側（すすぎ用）バケットの蓋にそれぞれ挿入します。
- バケットをキャビネット内に移動させ、左側バケットの吸気パイプをドレンバルブに再接続します。

オーバーフロー管付きバケット使用モデル

- 溶剤バケットの設置項に記載の手順に従って作業を実施してください。

トラブルシューティングフロー図

症状	原因	対策
洗浄溶剤が流れない (ポンプは正常作動音を発生)	ドレンバルブが閉じている 溶剤の水位が低すぎる ポンプ内の塗料残渣または溶剤ラインの閉塞	ドレンバルブが開いていない場合は、開いて（垂直に）ください。 洗浄溶剤の液面を確認してください。半分未満の場合は溶剤を補充してください。 手順 1「ダイヤフラムポンプ内の流体経路の閉塞」に従って対応してください。
洗浄溶剤が流れない (ポンプはヒス音を発生)	エアライン内の水分によりポンプが停止する	手順 2「ダイヤフラムポンプのエア通路閉塞」に従って対応してください
洗浄溶剤が流れず、ポンプから音がしない	<ul style="list-style-type: none"> • ポンプから漏れが発生 • エア通路の閉塞 	<ul style="list-style-type: none"> • ポンプを交換してください • 手順 3「エアラインの閉塞」に従って対応してください
ポンプが停止しない (手動でタイマーを回すか、エアを遮断しない限り継続作動)	タイマーの不具合	<ul style="list-style-type: none"> • タイマーを交換してください
タイマーノブを回すと逆回転	タイマーの不具合	<ul style="list-style-type: none"> • タイマーを交換してください

する		
タンク内壁に塗料が付着・堆積 (オペレーターは定期的なメンテナンスを実施している場合でも)	溶剤の洗浄力不足	<ul style="list-style-type: none"> 使用中の塗料に適合し、自動スプレーガンクリーナー用に調整された溶剤に交換してください

トラブルシューティングチャート

症状	原因	対策
洗浄不良		
ガンが洗浄されないポンプ作動・溶剤流量は正常	<p>洗浄不良の原因と対策</p> <p>トリガーが開位置で固定されていない</p> <p>→ トリガーロックで確実に固定してください</p> <p>スプレーガンがノズルに正しく取り付けられていない</p> <p>→ ガンを所定位置に完全にセットしてください</p> <p>溶剤の不適合</p> <p>→ 使用塗料に適合した洗浄用溶剤に交換してください</p> <p>洗浄力不足の要因</p> <p>エア供給圧力の低下</p> <p>→ 供給エア圧力を 85PSI 以上に調整してください</p> <p>噴射ノズルの詰まり</p> <p>→ ノズルの清掃または交換を実施してください</p>	<p>以下の各手順を実施後、タイマーを動作させて洗浄結果を確認してください。洗浄が不十分な場合は、次の手順に進んでください。</p> <p>トリガーロックスプリングを使用する適切なアダプターで再取り付けする</p> <p>不適合な溶剤を、使用塗料に適合し自動スプレーガンクリーナー用に調整された溶剤と交換する</p> <p>エア圧力を最低 85 PSI まで上げる</p> <p>ノズルを取り外し、エアで清掃する。改善されない場合は交換する。</p>
ガンが洗浄されない (洗浄溶剤が乳白色に濁っている)	洗浄溶剤が水分で汚染されている	洗浄溶剤を交換または再生処理してください
クリーンすぎが作動しない	<p>クリーンすぎ不良の原因</p> <p>清浄すぎ用バケット (右側) の溶剤不足</p> <p>→ 溶剤を適正レベルまで補充してください</p> <p>すぎポンプの腐蝕による亀裂からの漏れ</p> <p>原因: 酸性または塩素汚染溶剤による腐食</p> <p>→ ポンプの交換とともに汚染溶剤の完全</p>	<p>「溶剤の交換」項を参照</p> <p>→ 汚染溶剤の適正な廃棄と清浄溶剤の補充を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> すぎポンプを交換 <p>→ 腐食による損傷部品の根本的な対策</p> <p>エアライン閉塞の手順 3 に従い (エア</p>

	交換を実施 クリーンすすぎ用エアバルブの故障 → エアバルブの作動確認と必要に応じた交換	すすぎバルブ限定) → エアシステムの洗浄を実施し、二次災害を防止
クリーンすすぎ溶剤が汚れている	コンビネーション弁の故障	コンビネーション弁を交換してください。

トラブルシューティング手順

ダイヤフラムポンプ内の流体経路閉塞

ポンプが作動音を発しているにもかかわらず液体が流れない場合、以下の手順で流体経路を清掃してください：

吸込みチューブをバケットから外し、INLET 溶剤ホース（図参照）から 85 PSI のエアを吹き込みます。この時、フットペダルを踏んでください。この手順は数回繰り返す必要がある場合があります。

この方法で改善されない場合は、スプレーガンを使用して吸込みホースに水を吹き込み、1 分間待機した後、フットペダルを踏んでください。この手順も数回繰り返す必要がある場合があります。

この手順でも効果がない場合、ポンプの交換が必要です。ポンプの交換をご希望の場合は、最寄りの販売店にお問い合わせください。ダイヤフラムポンプの保証期間は購入日より 2 年間です。



手順 2

ダイヤフラムポンプのエア通路閉塞

持続的なヒス音がし、ポンプが循環作動しない場合は、エア通路の閉塞によりスプールバルブが停止しています。以下の手順で閉塞を解消してください。

- ブローガンを 85 PSI のエア源に接続します。ダイヤフラムポンプのエア排気ポートから延びる青いホースを確認し、その開口端からエアを吹き込んでください。その後、タイマーを作動させます。手順が成功すれば、ポンプは作動を再開します。数回繰り返す必要がある場合があります。これ

で改善されない場合は、ポンプを交換してください。

- 原因: エア供給源の汚染物質（水分、油、固体粒子など）
- 予防対策: 必要に応じてエアライン（水分）フィルターを設置してください。



手順 3

エアラインの閉塞

エアラインを構成するコンポーネントは、ダイヤフラムポンプ、エアバルブ、フットペダル、三方ボールバルブ、レギュレーターです。フロー図と「交換部品」のセクションを参照してください。

コンポーネントのトラブルシューティング手順は以下の通りです：

1. クイックディスコネクトを使用して、対象コンポーネントへのエアラインを切断します。
2. フットペダルを踏み、エアラインに十分な正圧がかかっているか確認します。十分な正圧が確認された場合は、そのコンポーネントを交換してください。

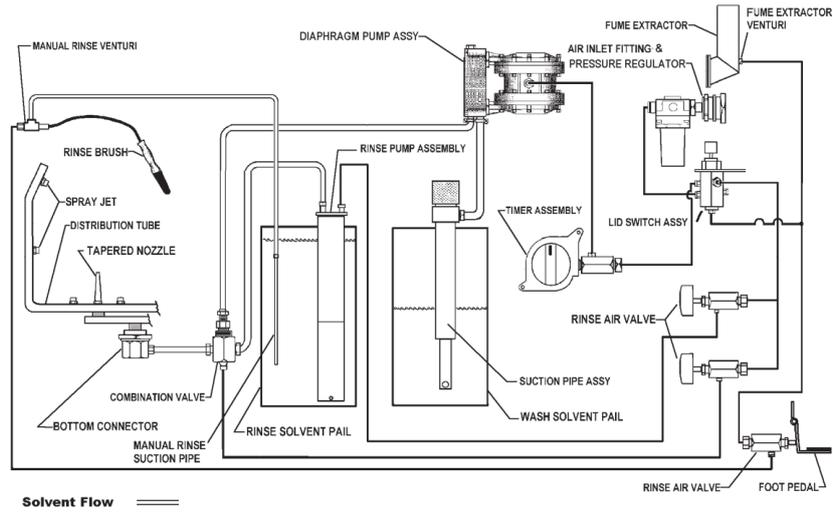
エア圧が確認できない場合は、上流側のコンポーネントに不具合があります。エアラインを再接続し、上記の手順 1 と 2 に従って、次の上流側コンポーネントの作動を確認してください。

フロー図

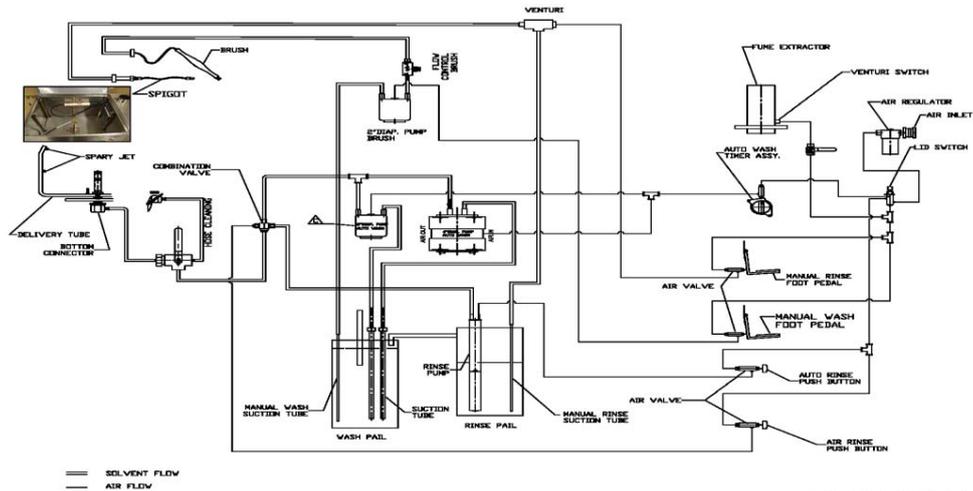
圧縮空気と溶剤の流れを追跡するには、以下の図を参照してください。

UG4000DVM / D / E

月



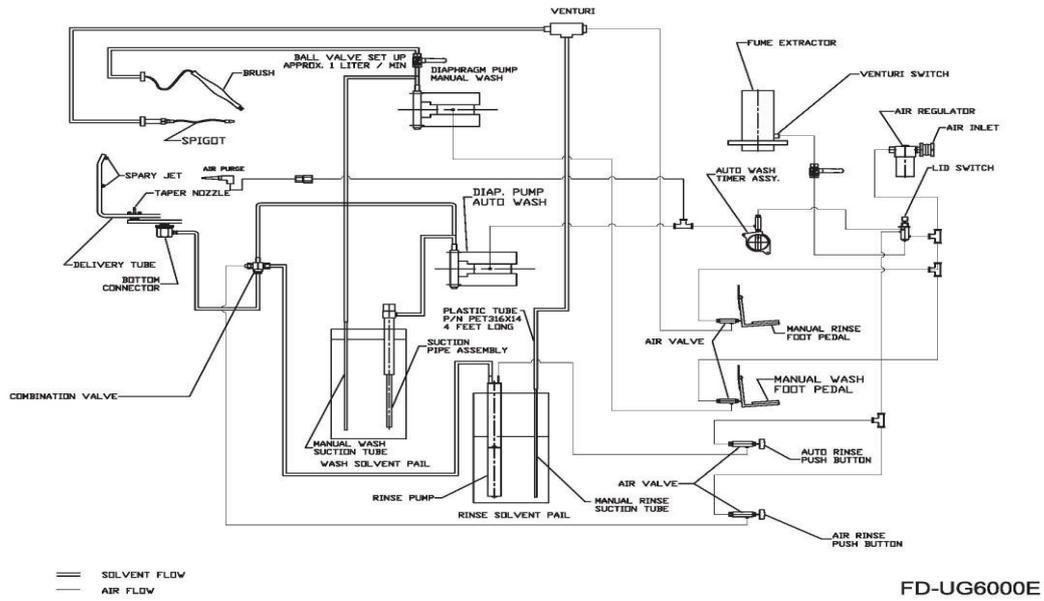
UG4500DV / UG6000EH / UPP6500E



FD-UPP6500E-C

UG6000E

月



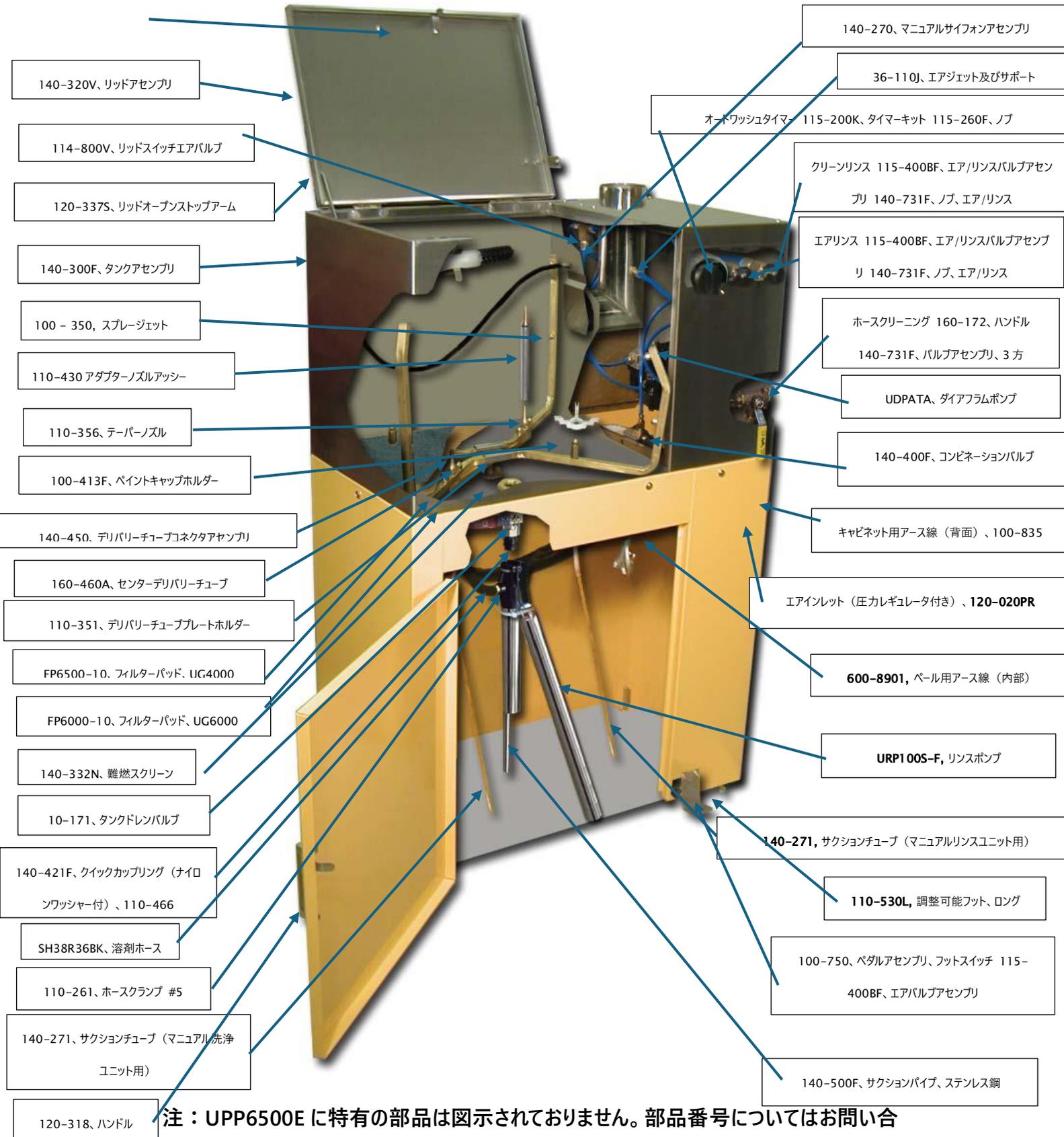
交換部品

120-627S、リッドクロージングスプリング

120-318、ハンドル

100-810A、リッドスイッチプレート

フロースルーブラシアセンブリ 144-390



注：UPP6500E に特有の部品は図示されておられません。部品番号についてはお問い合わせください。

アクセサリ、消耗品及びオプション部品

部品番号	品名
110-430	ノズルアダプタ、プッシュオン（従来式システム専用）
110-430PPS	ノズルアダプタ、プッシュオン（ディスポーザブル／従来式システム兼用）
780-3530	ノズルアダプタ（ディスポーザブルカップシステム専用）
100-413F	ペイントキャップホルダー
115-200/K	機械式タイマーアセンブリ（5 分）
140-230	エア通路プラグ
140-2340	トリガークランプ & プラグキット
140-340S	回転式スプレージェットアセンブリ
144-390	フロースルーブラシアセンブリ
144-397	フロースルーブラシ用ホース
100-835	ガンクリーナー用アース線（18 ゲージ、緑色、4 フィート）
600-8901	パール用アース線
FP6000-10	フィルターパッド（UG6000 用、10 枚入り）
FP6500-10	フィルターパッド（UG4000 用、10 枚入り）
KIT-MW4000	マニュアルウォッシュキット（DV から DVM へのアップグレード用）
780-8000	2 連パールセット（プラスチック製、キット、ホース及び継手付属（接続用）

溶剤再生装置



パールセット、部品番号 780-8000

（ホースは P2 再生装置（URS500P2、URS600P2、URS900P2）に同梱されています）

延長保証（北米のお客様向け）

購入日から 3 ヶ月以内に延長保証のご購入が可能です。

保証の種類は以下の 2 つとなります：

部品・作業費保証

保証期間は 2 年、3 年または 4 年をご選択いただけます。

月

延長保証のご購入をご希望の場合は、ユニラムまで下記番号へお電話ください：

カナダ: 1-800-417-9133

アメリカ: 1-800-735-4331

製品保証について

ユニラム製品は、高い性能基準に基づいて設計、製造されています。各ユニットは出荷前に工場ですべての試験を実施しています。

本製品は、購入日から 1 年間の完全保証が付帯します。工場サービス担当者が素材または製造上の欠陥があると判断した部品に関して、ユニラム株式会社は原本購入者に対し、無償での製品修理または交換の権利を留保します。後述の「保証条件」に記載されている消耗品は保証の対象外となります。

ユニラムは、お客様にユニラム返品手順に従って製品を着払いでユニラム工場または認定サービスセンターへ送付修理させるか、または現地修理を行うかを決定する権利を留保します。輸送中の損傷を防ぐため、購入者は原本の包装材料または同等の適切な包装材料を使用して製品を送付する必要があります。全てのユニットは、溶剤を完全に除去し清掃した状態で送付されなければなりません。

ダイヤフラムポンプについて:

スプレーガンクリーナーの心臓部であるダイヤフラムポンプには、2 年間の交換保証が付いています。万一、ご使用開始後 2 年以内にダイヤフラムポンプが故障した場合は、ユニラムサービス（1-800-417-9133）までご連絡ください。無償で新しいポンプをお送りし、元のポンプの返却手配をいたします。

保証条件:

ユニラム株式会社は、購入者が製品を保管、取り扱い、使用する際の作業環境や状況を管理できないため、本製品のあらゆる目的への適合性や使用結果について、明示または黙示を問わず、一切の保証または表明を行いません。この条件は全ての製品の販売に適用され、ユニラム株式会社の代表者または販売代理店がこの条件を放棄または変更する権限はありません。

本保証は原本購入者のみを対象とし、製品が誤用、過負荷、放置、改造された場合、または操作および設置説明書に指定された目的以外に使用された場合には適用されません。通常の使用による摩耗や劣化は保証の対象外です。事故、輸送、火災、洪水、天災による損傷も対象外となります。シリアルナンバーが変更または削除されたユニットは保証対象外です。取扱説明書に記載されている無許可の化学薬品や酸分を含む溶剤を使用した場合、保証は無効となります。購入者による無許可の自力修理または改造も本保証を無効とします。内部または外部の塗装は本保証の対象外です。

消耗品（ガスケット、スクリーン、バッグ、フィルター、ノズル、エアジェットなど）は本保証の対象外です。

本保証は、法令などにより明示または黙示されている他のすべての保証に優先します。

保証のお問い合わせは、ユニラムサービス（1-800-417-9133）までご連絡いただき、該当製品のシリアルナンバーをお伝えください。